

文部科学省「大学等を通じたキャリア形成支援による幼児教育の「職」の魅力向上・発信事業  
（「職」の魅力向上と人材確保の好循環を生み出すモデル創出事業）」

# リトミック ワークショップ

2023.11.11（土）

13:00-15:00

受付開始12:30



内容

参加費  
無料

- リトミック体験  
音楽を身体で感じて動きます
- 実践例  
子どもになって動きます

場所

千葉大学教育学部ダンス場

対象/定員

保育者養成校学生・現職保育者等  
30名

服装/持ち物

- ・動きやすい服装
  - ・筆記用具
- 活動は素足で行います（スリッパ不可）

申込方法

URLまたは2次元コードからお申込ください  
URL:<https://forms.gle/sk6VKNqNtzVjYstq9>  
※定員に達し次第×切ます



【問合せ】千葉大学教育学部幼児教育教室  
事業係：kyoikuyoji-jim@chiba-u.jp

主催：千葉大学教育学部幼児教育教室

# リトミックとは

リトミックは、スイスの作曲家、音楽教育家である エミール・ジャック＝ダルクローズ（1865年～1950年）によって創られた、音楽を総合的にそして合理的に学ぶための音楽教育法です。

全身を使って音楽を動きで表現するリトミックと、音楽を聴く耳を育てるソルフェージュ、即興演奏を組み合わせ、音楽の諸要素を体験する事を教育法の原点に置き、音楽理解を深め、動きによって得た筋肉感覚を生かし、その積み重ねにより自己を開放し、磨かれた感性をもとに、自己音楽表現を可能にする事がこの教育法の目的です。

リトミックは、大変柔軟で多面的である為に、音楽教育の分野に留まらず、一般教育（特に幼児教育）表現活動（演劇、オペラ、ダンス等）音楽療法等、多岐にわたり影響を及ぼします。とりわけ聴覚は脳の成長に大変大きな影響がある事が生理学的にも実証されており幼児期にリトミックのレッスンを受け、身体と聴覚を育てる事は、幼児の成長に非常に大切な事です。

ダルクローズが自分の教育法を説明するように頼まれた時、彼は、「ある生徒がレッスンで得た印象と成果を基に、リトミックの意義を説明する事はたやすい事だが、より深いリトミックの理解の為には、自身がレッスンを通してリトミックを体験する事が不可欠である」と言っています。

リトミックを学ぶ唯一の方法は、自分自身が経験を積み重ね習得していかななくてはならないと言う事です。音楽家、音楽教育者、一般教育者、表現活動を目指す方々、音楽療法士等様々な方々がリトミックを体験する事により、それぞれの現場における新たな発見をしていただけると確信しております。  
（ダルクローズ協会ホームページより）



**講師：鈴木 香代子** 千葉大学教育学部特任研究員

國學院大學人間開発学部子ども支援学科兼任講師

リトミック研究センター指導者会員（ディプロマA取得）

日本ダルクローズ音楽教育学会正会員，日本ジャック＝ダルクローズ協会正会員

日本音楽教育学会正会員，音楽鑑賞振興財団 音楽鑑賞教育マイスター会員

一般社団法人関東こども福祉教育学院代表理事

港区子育てひろば「あい・ぽーと青山」リトミック講師

千代田区子育てひろば「あい・ぽーと麴町」リトミック講師

墨田区東向島児童館，墨田区東駒形コミュニティ会館リトミック講師

子育てひろばや児童館では20年以上，のべ500人以上の子どもたちにリトミックを指導している。